平成 25 年 6 月の解説（週間天気予報）

【6 月の天候状況】

上旬は、北・東日本は、高気圧に覆われて晴れの日が多くなりました。西日本は、梅雨前線が日本南岸に停滞しやすく曇りや雨の日が多くなりました。沖縄・奄美は、梅雨前線の影響を受けにくく、晴れの日が多くなりました。

中旬は、旬前半の 12～13 日には、日本の東の高気圧や台風第 3 号の影響で南から暖気が流入したため、北・東日本日本海側、近畿を中心に高温となり、全国の気象官署 12 地点で 6 月としての日最高気温の高い方からの 1 位を更新しました。また、関東の一部以外は降水量の少ない状況が続きました。旬後半の 18 日から 21 日には、西日本から東日本に停滞した梅雨前線や台風第 4 号から変わった低気圧の影響により、北陸、西日本、沖縄では大雨となり、総降水量が 300 ミリを超えるところもありました。

下旬は、北日本では、上空の寒気や梅雨前線の影響で曇りや雨の日もありましたが、高気圧に覆われて晴れの日もありました。東・西日本は、梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多く、降水量も多くなりました。23 日から 26 日には、九州から日本の南海上にかけて停滞した梅雨前線と低気圧の影響により、西日本で大雨となり九州南部では総降水量が 400 ミリを超えるところもありました。沖縄は高気圧に覆われて晴れの日が多くなりましたが、奄美は 26～27 日に梅雨前線の影響で雨となりました。

月平均気温は、沖縄・奄美でかなり高く、北日本、東日本、西日本で高くなりました。秋田、若松（福島県）では 6 月の月平均気温の高い方からの 1 位を更新しました。月降水量は、北日本ではかなり少なく、沖縄・奄美では少なく、釧路（北海道）、大船渡（岩手県）、青森、深浦（青森県）、秋田では 6 月の月降水量の少ない方からの 1 位を更新しました。一方、西日本太平洋側で多くなり、高松（香川県）では 6 月の月降水量の多い方からの 1 位を更新しました。

【6 月の検証結果】

「降水の有無」の適中率（3～7 日目の平均）は、全国平均では例年値(注) より 5 ポイント高い 68%でした。地方毎の適中率は、北日本を中心に例年値より高い地方が多く、東北・北陸・近畿地方では例年値より 11～15 ポイント高くなりました。一方、九州北部・南部地方では例年値より低くなりました。特に九州南部地方では例年値より 18 ポイント低い 43%となり、台風や梅雨前線の予報精度に課題があると考えられます。

最高気温（2～7 日目の平均）の予報誤差は、全国平均では例年値より 0.1℃大きい 2.8℃となりました。各地方について、近畿・四国・九州南部地方では例年値より 0.6～0.9℃大きく、関東甲信・沖縄地方では例年値より 0.4℃小さくなりました。最低気温（2～7 日目の平均）の予報誤差は、全国平均では例年値より 0.2℃小さい 1.6℃となりました。各地方について、関東甲信・北陸地方では例年値より 0.5℃小さくなりました。

（注）例年値は気象庁ＨＰ（予報精度検証）内「月毎の精度の例年値」を参照してください。

【8 月の週間天気予報の利用にあたって】

8 月は年間を通して最も気温が高く、真夏日（日最高気温が 30℃以上の日）が最も多い月です。これは、梅雨が明けて太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多くなるためで、日最高気温が 35℃以上の猛暑日となることもあります。

向こう一週間で最高気温が 35℃以上※1 となることが予想されるような場合には、高温に関する気象情報が発表されます。週間天気予報の利用にあたっては、向こう一週間の日々の最高気温予報や高温注意情報も参照し、熱中症など健康管理に留意して下さい。

※1 一部の地域では 35℃以外を用いることもあります。